

令和6年4-6月期調査 「経営上の問題点を解決するための要望など」

【製造業】

- 回答なし。

【建設業】

- 従業員の高齢化等に熟練技術者への給与で、103万円のしぼりで出勤日数の減少により工事が遅延する。しぼりがなくなれば、高齢者の働き場が増すのでは。

【卸売業】

- 地方の塗料販売店にとって塗料の値上げは死活問題になってきている。塗料を多く在庫して原価をしぼる大きい規模の販売会社との競争は時間とともに厳しさを増す。これからのことを考えると吸収合併もあるかもと思っております。少しずつ勉強して情報収集していきたい。

【小売業】

- 仕入単価の上昇で販売単価も上がっており、消費者の節約志向が感じられる。今後の見通しは厳しい。
- 商品の仕入値の値上げを売上単価に転嫁できない。
- 運転資金借入れの柔軟性。

【サービス業】

- 仕入単価の上昇、経費の上昇で大変ですが、皆大変な時。皆が我慢の時だと感じます。

令和6年4-6月期調査 「業界の課題として感じていること」

【製造業】

●原材料、資材費が上昇しているものの、商品価格の値上げが難しい状況がある。値上げする場合の既存取引先への連絡コストが課題。

【建設業】

●現況労力不足で苦慮する中、週休5日制の導入はどうか。給与不足により、他の会社へのバイトが増えている。

【卸売業】

●商品の値上げが続いている中、最近では運送業界の改善が（働き方改革という）2024年問題としてよく持ち上がっている。運賃値上げの口実になり、数回にわたる値上げは私どもにはユーザーに対しての値上げが難しくなっている。

【小売業】

- 環境の変化。
- 顧客の高齢化、減少に伴う売上の低下。
- 顧客の買い控えによる売上の低下。
- 物価高による購買力の減少。
- 高齢化について様々な負担が増えているように感じます。（商品の配達依頼の増加など）

【サービス業】

●後継者不足で、この先この業種がなくなることもあるのかと心配しています。

